



森吉山麓高原のバースデーランドにブナの苗木を植樹する関係者

首都圏の30人ブナ植樹

NPO法人MORIMORINETT

山 吉 森

初のバースデーランドに 近い将来の再会を約束

全国で森づくりの交流活動を行っているNPO法人MORIMORINETT（山縣睦子代表、東京都）は4日、北秋田市の森吉山麓高原でブナの苗木を植樹した。同法人は、全国の森林に記念植樹の場となる「バースデーランド」を設ける計画で、同山麓が第一弾。参加者は関東圏の会員約30人で、「いつかまた、この地を訪れ苗木の

成長を確かめたい」と話した。

バースデーランドは自分や家族の誕生日を記念して集まり、植樹などを楽しむ場。山縣代表によると、候補地は全国に7カ所あり、森吉山麓が最初の植樹地となった。会の選定に当たっては、二酸化炭素の削減に取り組みグリーンプラス（本社・東京）、同市のNPO法人冒険の鍵クーンなどが仲立ちした。国土緑化推進機構の緑と水の森

同ネットワークは8年6月に設立。山村と都会の暮らしを結び、次世代により良い環境を残そうと、森林づくりなどの運動を展開。また、会員の絆と活動の輪を広げるため、定期的に植樹会場に集まって交流を深めようと、全国の森林に「バースデーランド」を設ける計画を進めている。

林基金助成事業の一環でもある。一行は、「北秋田のブナ林を歩く」と題して本県入り。初日の3日は、秋田内陸線を利用して森吉山阿仁スキー場に向かい、ゴンドラに乗車してブナの芽吹きや高山植物などを楽しんだ。

2日目は、森吉山麓高原の青少年野外活動基地周辺に設定したバースデーランドにブナの苗木を植樹。植樹ゾーンは約2畝あり、今回は1畝を使用した。開会行事で山縣代表は「この場所は広葉樹が多いので、いろいろな緑が楽しめる。新緑シーズン真っ盛りで、森林はまさに緑の陣取り合戦といったところ。私たちもこの森林にいろいろな緑を育てたい」と挨拶。

来賓の津谷市長は「最初のバースデーランドにこの地を選んでもいい、とても光栄。植樹後も当市に足を運んで、森吉山を全国に発信してほしい」と述べた。

この後、会員が高さ約80センチのブナの苗木を1本ずつ植樹。作業が終了した後には用意したプレートに名前や生年月日などを書き込み、「いつか自分の植えた苗木を見に来たい」と会話を弾ませた。同ネットワークでは「近い将来、また森吉山麓を訪れ、交流活動などを行いたい」と話し、会員たちは再会を約束し合った。

最終日の5日は山菜摘みを楽しむ。

